

# 杏千狐話

弐



※狐化パラレル  
※杏千 腐向け 成人向け  
お山で暮らす狐獄兄弟のお話です





はあっ

はっ…



はあっ



はあ  
は…

う…

うな  
魔まされている

はあ

はあ

恐ろしい夢でも  
視ているのだろうか

俺も稀に視る

奇妙な夢を

よし

ははうえ…

は、  
は、

ちちうえ

は…

は…

…あにうえ

ギャッ



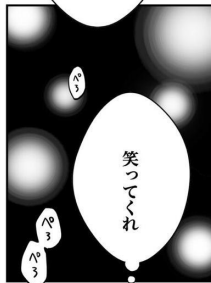


兄上…



夢の中の  
俺は

おまえを  
救わないのか



笑ってくれ



70  
3

よ、よかった…

珍しく  
魔されて  
いたので

何か  
あったのかと

!

兄上!!



大丈夫です  
おれ達しか  
いませんから

怖いものは  
ありません

兄上にも  
怖いものなんて  
あるのかな

わからないけど



こうすると  
落ち着くのは  
知ってる

へろ



へろ

へろ

ふ



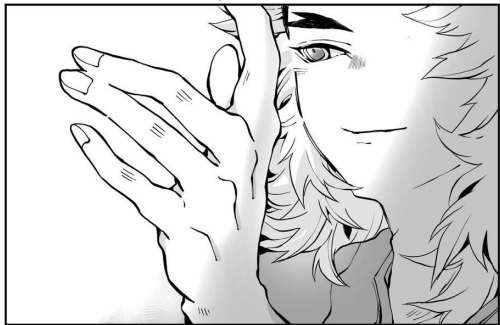
笑って

笑ってください  
兄上

へろ

へろ

ん








兄上！そろそろ  
お時間です

ああ！！

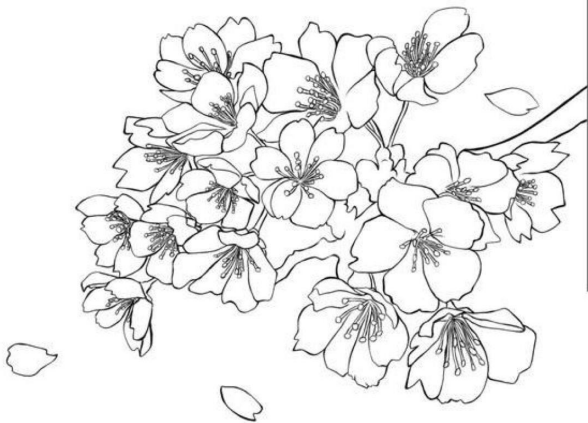


減腹つがた!





僕たちの山にも  
春が来ました





たーん

酸味が強い  
木の実だな



おれもそろそろ滝行を  
始められるでしょうか！

…それより  
兄上！

ツツツ



いつも卓に出すのは  
蜂蜜で煮て甘くしている  
スグリの実ですから

そのまま食べると  
酸っぱいです

ニ

そうなのか!!

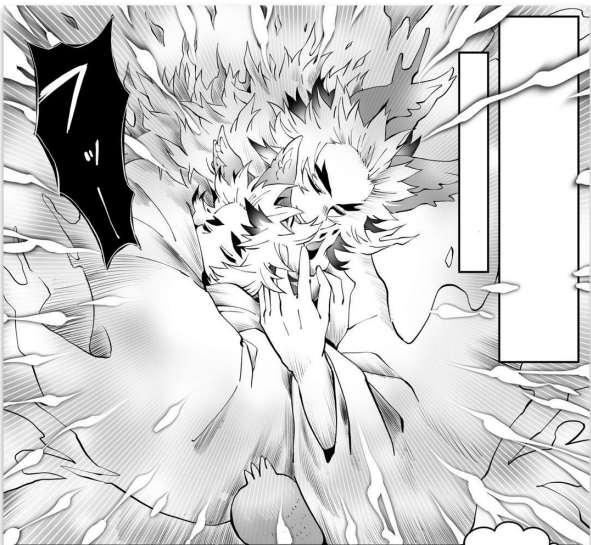



むむむ…

うーむ まだ早いな










どうして  
兄上にできる事が



僕には  
難しいのだろう



千寿郎

しやこ

俺はこの実の  
食べ方を  
知らないが

おまえは  
知っていた

何が最善か  
考え試した  
結果だろう

修行もまた  
同じこと

本音と  
ヤハラカク  
なま

甘  
ハハハ  
おい  
ん

焦らずとも  
おまえは必ず  
立派に生きていける

保存も  
どキーソウ  
や、こめよう

ただし俺の  
いない場所で  
無理はしない  
ように！

甘ハハ部

わはは

さてそろそろ  
腹も限界だ！

兄上

あ









稀に遠くの街にゆかける時は  
尻尾と耳を隠します



ひょいっ

おいしい!



ひょい

子狐千寿郎は  
うまく隠せない  
時もある



あつ

ナナ、

片耳  
出てるぞ

目の前の命は  
みんな何かの  
生まれ変わり

前の世界で誰かに  
大切にされてきたものだから  
今であった自分たちも  
大切にされるのだ

絵本を読むように  
兄上はそう言う





すぐ綿毛に  
なってしまう



兄上？

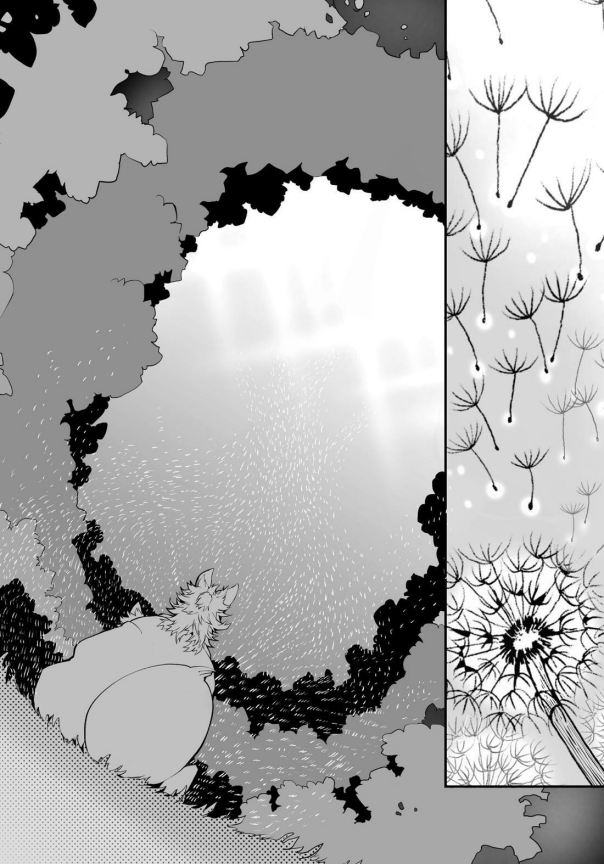
千寿郎

待て



茎を手折る  
必要はない

息を吹いてやる  
だけでいい





しかし同じ  
花を咲かせる



兄上

せっかく  
同じ場所に  
生まれて  
きたのに

彼らは  
離れ離れに  
なってしまう  
のでしょうか



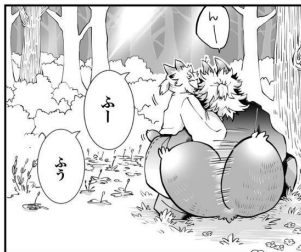
どこで咲いても  
すぐに家族と  
わかるように

ササ











お日様が

兄上

あ

あ

うん

うん

うん

あ

あ



やめない

あっあっ

!

ん...

うー















愛しくて

俺の

ん



俺の

...




ものではないのに

俺とおまえは  
別の個体だが

あ...あ...

んはっ...



こうしてる  
時だけは…

目の前の命は  
みんな何かの  
生まれ変わりの





まだ  
くつついて  
いたの





自分のちからで  
選んだ



一緒に  
いたいなら



## おキツネ世界線の杏千



### おキツネ 杏寿郎

しっぽがでかい。  
しっぽに千寿郎をよく  
入れる。  
しっぽはモフモフ。  
しっぽも強い。  
危険が近づいたと秒ど  
おかるのと えちはどごでも  
大丈夫。



### おキツネ 千寿郎

兄上にくっついていたい  
早く一人前になりたい。  
しっぽはまだ小さい。  
おうちじゃない場所の  
えちは落ち着かない。  
しっぽはサラサラ。

